

研究結果発表

「医療の質と外科手術の技術集積性に関する研究」

国立保健医療科学院
政策科学部
部長 長谷川 敏彦

時 2003.11.17 15:00-17:00
所 三田共用会議所 3F

第1部 医療の質と技術集積性の研究の歴史

1. 質研究の歴史
質ばらつきから量結果分析へ
2. 先行研究のレビューー海外
米国科学アカデミー医学院 (IOM) 報告 (2001)
3. 先行研究のレビューー国内
日本産婦人科学会 (1993)、日本胃がん学会 (1999)

第2部 日本での技術集積性の研究

1. 研究方法
概念枠組み、量、質関連モデル、7種データベース、被説明変数、説明変数、多重ロジスティック回帰分析
2. 研究結果
心疾患、脳卒中、がん、統括 (90日死亡、5年生存)

第3部 日本の手術集中度の分析

1. 時系変化
開心、開頭、胃がん手術、量別件数施設数推移
2. 地域格差
開心、開頭、胃がん、肺がんなど手術、県別、2次医療圏別集中度分布

第4部 政策への応用

1. 2つの戦略
規制と競争
2. 現状
米国質研究庁推薦、学会推薦、情報提供

第5部 結論

診療報酬調査専門組織(医療技術評価分科会)

手術施設基準関連
研究結果発表

時 2003.11.17 15:00-17:00
所 三田共用会議所3F



平成14年度 厚生科学特別研究
 医療の質と外科手術の
 技術集積性に関する研究

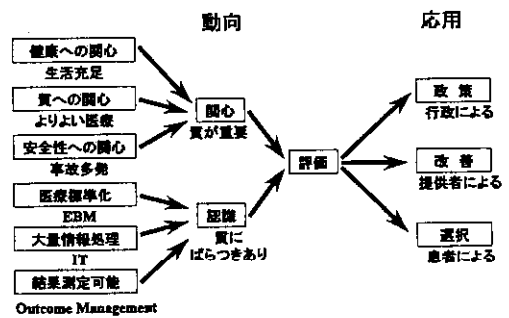
国立保健医療科学院
 政策科学部
 長谷川 敏彦

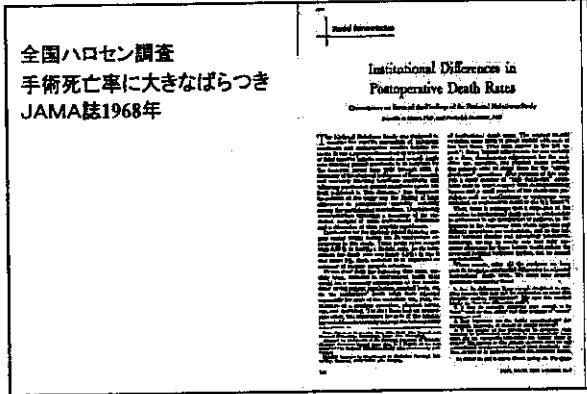
第1部 医療の質と 技術集積性研究の 歴史

(1)

質研究の 歴史

医療の質をめぐる動向と展開





(2)
**先行研究の
レビュー
海外**

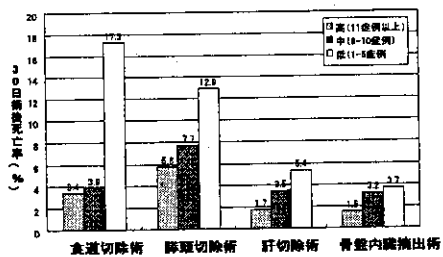
米国科学アカデミー-医学院(NAS/IOM)報告書より
IOMワークショップ2001年の結果
研究デザイン評価法(EBM類似手法)

特徴	分類	点数
1. 症例の代表性	無 代表的	0 1 2
2. 病院、医師の数	H<20 and/or MD<50 H≥20 and MD≥50	0 1 2
3. 症例数	<1000 ≥1000	0 1 2
4. 有害事象数	≤20 21-100 >100	0 1 2 3
5. 分析単位	病院か医師か 両方別々 両方共に 両方その他	0 1 2 3
6. 患者の適合性	測定無 測定別 測定分析別	0 1 2
7. 量	2分類 多数	0 1
8. リスク調整	無 入院のみ 臨床データ clinical +C>.75 and H/L test +	0 1 2 3
9. 臨床診療過程	測定無 1 2以上	0 1 2
10. 結果	死亡 死亡とそれ以外	0 1

850関連論文を88論文に絞込

主要がん手術に対する病院手術量の影響

メディケア被保険者 1984-1993



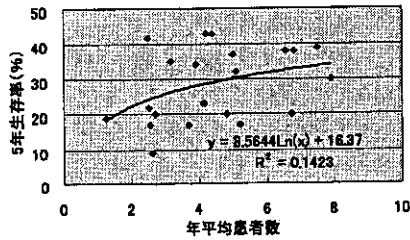
米國厚生省

(3)

先行研究の
レビュー
国内

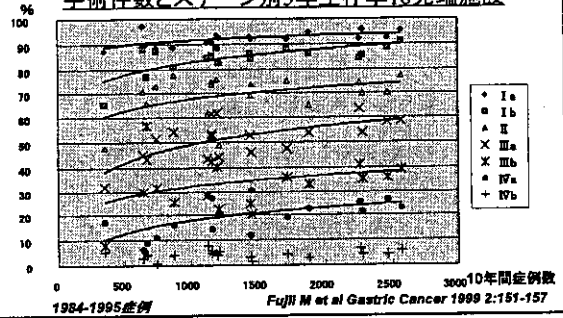
日本産婦人科学会…日本最初の治療成績
ばらつき報告
1993年

第三期卵巣がん年平均患者数と5年生存率の相関



全国21施設 1976-1990, 778症例

第71日本胃がん学会1999年
治療成績ばらつき報告
手術件数とステージ別5年生存率18先端施設

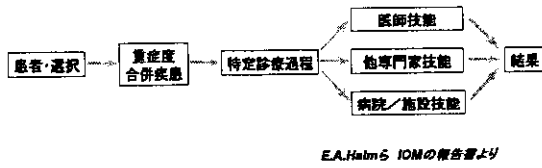


1984-1995症例 Fujii M et al Gastric Cancer 1999 2:151-157

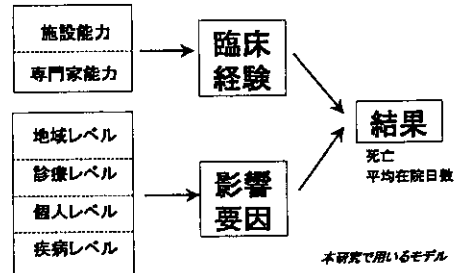
第2部
日本での技術集積性の
研究

(1)
研究方法

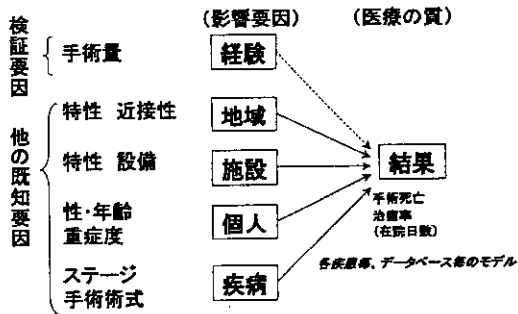
高量は質に影響しうるか 概念枠組み



量・質関連モデル(一般モデル)



量・質関連モデル(作業モデル)



影響要因の定義と計算法 虚血性心疾患例

	定義	単位	計算法	変数説明
施設レベル	地域特性	4地方に分割	0, 1によるダミー変数	質的
	アクセス	人口当たり施設数	県別病院数/県別人口	連続
施設レベル	急性期前院か 否か	平均在院日数	施設毎全治院患者数/患者平均	連続
	病床規模	5段階のグループ化	0, 1によるダミー変数	質的
	施設所有	I A B P 認定施設	0, 1によるダミー変数	質的
	院内設備	冠動脈CCU	0, 1によるダミー変数	質的
個人レベル	性	男女	0, 1によるダミー変数	質的
	年齢変化	年齢	年齢数	連続
	紹介	入院前の受診経緯	自院外来とその他	0, 1によるダミー変数

各データベース

データベース名	期間	単位	施設数	症例数	対象疾患
患者調査1996	1996.9	1ヶ月間	2087	16868	虚血性心疾患*、 脳卒中**、 がん15部位***
患者調査1999	1999.9	1ヶ月間	2291	22718	虚血性心疾患、脳卒中、 がん15部位
地域脳卒中登録	1985-2000	16年間	20	3773	脳卒中(脳出血、脳梗塞、 くも膜下出血)
地域がん登録 大阪	1986-1995	10年間	382	61563	がん13部位
地域がん登録 福井	1984-1996	13年間	154	11552	がん15部位
地域がん登録 山形	1989-1996	8年間	144	17005	がん15部位
胃がん研究会 胃がん登録	1963-1973 1974-1982 1983-1990	11年間 9年間 8年間	141 186 141	17544 45111 58619	胃がん

* 虚血性心疾患は調査対象、** 脳卒中は調査対象、*** がんは平常の多い順に15部位、ただし地域がん登録大阪府は13部位。

データベースの特徴、欠点、利点

データベース名	利点	欠点
患者調査	地域代表性全国	リスク調整限界
地域脳卒中登録	地域代表性	施行施設数少ない
	リスク調整可能	手術日の同定不可
地域がん登録 大阪	地域代表性、 サンプル数拡大	リスク調整一部のみ
地域がん登録 福井	地域代表性	大阪府近郊圏域は最近
地域がん登録 山形	地域代表性	リスク調整一部のみ
		数の少ないがんあり
胃がん研究会 胃がん登録	疾病詳細データ、 サンプル数拡大	リスク調整一部
学会データ 胃、卵巣	先駆的	数の少ないがんあり
		参加施設のみ
		少数、リスク調整不可

被説明変数

被説明変数	患者調査			地域 脳卒中 登録	地域がん登録			全国 がん登録 胃がん
	虚血性 心疾患	脳卒 中	が ん		大阪	福井	山形	
5年生存率					○	○	○	○
90日 死亡率	○	○	○	○	○	○	○	○

説明変数

説明変数	年代	患者調査			地域 脳卒中 登録	地域がん登録			全国がん 登録胃がん
		虚血性 心疾患	脳卒 中	が ん		大阪	福井	山形	
臨床経過	手術歴	○	○	○	○	○	○	○	○
	放射線療法	○	○	○					○
	化学療法	○	○	○					
	手術	○	○	○					
	放射線療法	○	○	○					
	化学療法	○	○	○					
	手術	○	○	○					
	放射線療法	○	○	○					
	化学療法	○	○	○					
	手術	○	○	○					
人口学	性別	○	○	○	○	○	○	○	○
	年齢	○	○	○	○	○	○	○	○
	職業	○	○	○					
	婚姻状況	○	○	○					
	教育程度	○	○	○					
	収入	○	○	○					
	居住地	○	○	○					
	家族構成	○	○	○					
	健康状態	○	○	○					
	その他	○	○	○					